

2014年 総合生活改善
第4回中央生活闘争委員会
＜確認事項＞

2014年 3月25日
自動車総連

- ☆ 2014年総合生活改善の取り組みにおいて、各単組は全ての取り組み項目について、要求実現に向け懸命に取り組みを進めている。
- ☆ 各単組は、3月8日(土)に開催した第3回中央生活闘争委員会における確認事項に基づき全力で交渉を進めており、拡大戦術会議登録組合の集中回答日である3月12日(水)から昨日までの間に、賃金・年間一時金等について妥結・妥方に至った単組の状況は次の通りである。

1) 解決状況 (2014年3月24日 13:00時点報告ベース)

①賃金

- ・賃金引上げを要求した1,113単組のうち、妥結・妥方に至った単組は293単組、解決率は26.4%(前年同期:271単組 27.4%)である。
- ・妥結・妥方に至った単組のうち、賃金改善分を確保した単組は256単組で、獲得額は単純平均で1,128円(引上げ率0.43%)である。
- ・個別賃金については、323単組(前年256単組)が要求し、139単組が回答を引き出している。

	妥結・妥方単組数	賃金改善分獲得				賃金カーブ維持分確保	個別賃金* * 0 は前年最終実績	
		単組数	獲得割合	金額 〔単純平均〕	引上げ率			
全体	293	256	23.1%	1,128円	0.43%	32	139	
(前年最終実績)	(988)	(196)	19.8%	(833円)	(0.39%)	(653)	(145)	
業種別	メーカー	13	13	100%	1,785円	0.57%	-	6(6)
	車体・部品	210	183	46.0%	1,033円	0.40%	24	97(132)
	販売	41	37	6.3%	1,164円	0.47%	2	31(1)
	輸送	6	5	19.2%	1,890円	0.88%	1	2(1)
	一般	23	18	22.5%	1,322円	0.50%	5	3(5)

②一時金

- ・一時金を要求した1,075単組のうち、妥結・妥方に至った単組は253単組、解決率は23.5%(前年同期:286単組 26.8%)である。
- ・妥結・妥方に至った単組のうち、年間回答単組は250単組で、年間平均回答月数は4.93ヵ月(前年差+0.21ヵ月)となり、157単組が5ヵ月以上を獲得している。また、前年と月数比較可能な単組のうち、223単組(全体の89.2%)で前年回答月数以上を獲得している。

【単位:単組数、%、ヵ月】

	妥結・妥方単組数	年間回答単組数	年間回答単組の平均回答月数					
			前年平均実績 現時点 (最終実績)	前年差 現時点 (最終実績)	5ヵ月以上獲得	前年月数以上(比率) *1		
全体	253	250	4.93	4.72(4.14)	0.21(0.08)	157	223(89.2)	
業種別	メーカー	13	13	5.48	5.05(5.05)	0.43(0.40)	11	13(100)
	車体・部品	201	198	4.89	4.69(4.13)	0.20(0.04)	119	177(89.4)
	販売	12	12	4.97	4.88(4.13)	0.09(0.11)	7	10(83.3)
	輸送	5	5	4.69	4.46(4.16)	0.23(0.37)	4	4(80.0)
	一般	22	22	5.06	4.74(4.15)	0.32(0.12)	16	19(86.4)

*1:比率は、妥結・妥方単組のうち、前年と月数比較が可能な単組について集計。

③その他

- ・企業内最低賃金協定については、現時点において、水準の引き上げに9単組で進展が図られている。
- ・非正規労働者に関する取り組みについては、現時点において、賃金で50単組、一時金で13単組、正社員登用の促進で8単組、非正規労働者の能力形成等で3単組の進展が図られている。

2) 今後の進め方

車体・部品、輸送、一般の各部門は、解決に向け最大限の追い上げを図るとともに、販売部門についても、各労連で設定した回答ゾーンで納得のいく結果を導き出すべく、次の通り取り組みを進める。

①個別要求項目

(第3回中央生活闘争委員会 2014年3月8日 再掲)

<賃金>

- 全ての単組は、賃金カーブ維持分の確保に徹底的にこだわり、その原資を100%確保する。
- 賃金改善分については、自らが掲げた要求に沿った回答にこだわり、最大限押し込む。
- 個別賃金については、平均賃金との同時決着を図る。
- 企業内最低賃金協定については、同じ企業に働く仲間である非正規労働者も含めた賃金下支えの観点に加え、広く自動車産業で働く者の賃金下支えにつながる特定(産業別)最低賃金への波及も視野に、協定の締結や締結対象者の拡大、締結水準の向上に向け全力で取り組む。

<一時金>

- 年間一時金については、組合員とその家族の生活を守るために、また、組合員のこの一年間の努力・成果に報い、且つ更なる意欲・活力に繋げていくためにも、賃金との「同時決着」「年間協定」を堅持するとともに、要求水準への組合員の強い思いを踏まえ、「満額獲得」にむけ最後まで押し込む。

<総実労働時間>

- START12の方針に沿った各単組の3ヵ年計画に基づき、総実労働時間短縮に向けた着実な前進を図る。

<非正規労働者に関する取り組み>

- 個々の要求に込めた思いの実現にむけて、最後まで全力で取り組む。

②回答引き出し

- 各単組は、各要求項目について同時回答を引き出し、3月末決着に向け最大限取り組む。
- ・回答指定日の重みを踏まえ、車体・部品部門は3月末決着、販売部門は早期決着に向け取り組み、総連全体では遅くとも4月末までの決着を図るべく最大限努力する。

③第5回中央生活闘争委員会を4月22日(火)に開催する。

以 上